これまでの主な取組経緯

施策方針	施策・施設	取組(2018年度時)	これまでの主な取組経緯
歳入の確保	① サービス料金の適正化	1 サービス料金の一元化	令和元年度に、複写の発行事務を廃止し、サービス料金を一元化しました。
	② 下水道使用料の適正化	1 下水道使用料の適正化	令和2年度より公営企業会計を導入するとともに、『府中市下水道マスタープラン2020』を策定し、これに基づき下水道財政の 投資・財政計画を見通した府中市下水道事業経営戦略を策定し、下水道使用料の適正化を検証しました。また、令和3年度から 業務状況説明書類を公表し、下水道事業経営の健全性を示しました。
	③ 新たな歳入手法の導入	1 花壇・ベンチなどへのスポンサー制度の導入	令和3年度に、ボランティアによる維持管理を取り入れた花壇制度について周知を行い、ボランティア管理を拡充しました。
		2 ネーミングライツの導入	令和元年度に多摩地域、特別区を対象に、アンケートにより事例を調査しました。
		3 新たな歳入手法の導入	令和元年度に多摩地域、特別区を対象に、アンケートにより事例を調査しました。
	④ 道路占用料の適正化	1 道路占用料の見直し	平成30年4月から施行した府中市道路占用料徴収条例に沿って、道路占用料を徴収しました。
	⑤ 公園の占用料及び 使用料の適正化	1 公園の占用料及び使用料の見直し	令和2年度から、駐車場有料化の検討が行われましたが、物価高騰等による市民生活への影響が続いているため、駐車場の有料化は、市全体の結論として改めて検討することになりました。
	⑥ 法定外公共物の活用	1 法定外公共物の売払いの推進	令和元年度に、法定外公共物を隣接する地権者に対し売払い、令和2年度より、不要な法定外公共物に隣接する地権者に払下 げの打診を行いました。
		2 市道の廃止	令和元年度に、1路線廃止しました。
	⑦ 公園緑地等の利活用	1 公園緑地等の利活用	令和5年度に、民間事業のドラマ撮影などに公園使用を認め、収入を確保した。
総量の抑制	⑧ インフラの新設等をする場合 の要否の判断制度	1 インフラの新設等をする場合の検討会の設置	令和元年度に多摩地域、特別区を対象に、アンケートにより事例を調査しました。
市民への周知活動	⑨ 市民への周知活動	1 パンフレットの作成	市ホームページへの掲載のほか、文化センターなどの市関連施設や市内の大学に設置し、さらに、令和3年度から協働まつり等で配布を行いました。
		2 シンポジウムの開催	平成30年度に「府中市のインフラマネジメントについて考える」をテーマに、シンポジウムを開催し、講演とパネルディスカッションを実施しました。
		3 出前講座の実施	平成30年度に出前講座を新規に開設し、1団体から派遣の依頼を受け、講座を実施しました。
		4 (仮称)インフラ検定の開催	令和元年度にまちづくりカフェの中で市民や職員から手法の提案を受けました。
維持管理業務の 効率化 官民連携手法の 推進 管理情報の電子 化による効率化	⑩ 道路等包括管理事業	1 道路等包括管理事業の実施	令和3年度からは、市全域で道路等包括管理事業を開始しました。
	① インフラマネジメントシステム の活用	1 インフラマネジメントシステムへのデータの集約化	令和3年度に、協定情報のデータ搭載を行い、紙媒体でご案内していた道路計画情報をデータ化し、システムに搭載しました。
	① 公園緑地等の管理における 官民連携の推進	1 公園緑地等の指定管理者制度の導入	令和元年度に、公園の在り方について、歳入の確保、維持管理など総合的な観点から検討し、その後、令和5年度から市立公園 のうち一部の公園における指定管理者による管理運営を開始しました。
		2 公園緑地等の道路等包括管理事業の導入	
		3 公園緑地等における新たな管理手法の導入	
市民との協働による管理	③ 不具合の通報制度	1 不具合の通報制度の導入	道路等包括管理事業者や他の事業者から先進事例の活用状況について、ヒアリングを行いました。
	(子) インフラ管理ボランティア制度 (府中まちなかきらら)	1 インフラ管理ボランティア制度の周知	平成30年度に、広報、ホームページへの掲載のほか、看板やのぼり旗を作成し、制度の周知に努めました。
		2 インフラ管理ボランティア制度の見直し	令和2年度に、インフラ管理ボランティア制度に花壇制度を取り入れるなど、制度の改正を行いました。
	歳入ののでは、 一部では、 一部には、 一部では、 一部には、 一部に	① サービス料金の適正化 ② 下水道使用料の適正化 ③ 新たな歳入手法の導入 ④ 道路占用料の適正化 ⑤ 公園の占用料及び使用料の適正化 ⑥ 法定外公共物の活用 ⑦ 公園縁地等の利活用 ② 小フラの新設等をする場合の要否の判断制度 ① 市民への周知活動 ② 市民への周知活動 ② 市民への周知活動 ② 市民への周知活動 ② 市民への周知活動 ② 市民への周知活動 ① 道路等包括管理事業 ① インフラマネジメントシステムの活用 ② 公園緑地等の管理における官民連携の作進 ③ 不具合の通報制度 市民との協働による管理 ① インフラ管理ボランティア制度	① サービス料金の適正化 1 サービス料金の一元化 ② 下水道使用料の適正化 1 下水道使用料の適正化 1 花壇・ベンテなどへのスポンサー制度の導入 2 ネーミングライツの導入 3 新たな歳入手法の導入 2 ネーミングライツの導入 3 新たな歳入手法の導入 2 ネーミングライツの導入 3 新たな歳入手法の導入 1 道路占用料の通正化 1 道路占用料の見直し 5 公園の占用料及び 使用料の適正化 1 公園の占用料及び使用料の見直し 2 市道の廃止 2 市道の廃止 1 公園縁地等の利活用 8 重の抑制 ③ インフラの新設等をする場合の表面の要否の判断制度 1 インフラの新設等をする場合の検討会の設置 1 パンフレットの作成 2 シンボジウムの開催 3 出前講座の実施 4 (仮称)インフラ校定の開催 3 出前講座の実施 4 (仮称)インフラ校定の開催 1 道路等包括管理事業の実施 1 道路等包括管理事業の実施 1 公園縁地等の指定管理者制度の導入 2 公園縁地等の指定管理者制度の導入 2 公園縁地等の道路等包括管理事業の導入 3 公園縁地等の道路等包括管理事業の導入 3 公園縁地等における新たな管理手法の導入 1 不具合の通報制度 1 不具合の通報制度の導入 1 不具合の通報制度 1 不具合の通報制度の導入 1 不具合の通報制度の導入 1 不具合の通報制度の導入 1 不具合の通報制度の導入 1 インフラ管理ポランティア制度の周知 (6 インフラ管理ポランティア制度の周知 (6 インフラ管理ポランティア制度の周知 (6 インフラ管理ポランティア制度の周知 (6 インフラ管理ポランティア制度 (6 インフラ管理ポランティア制度 1 インフラ管理ポランティア制度の周知 (6 インフラ管理ポランティア制度 1 インフラ管理ポランティア制度 1 インフラ管理ポランティア制度 1 インフラ管理ポランティア制度 1 インフラ管理ポランティア制度 1 インフラ管理ポランティア制度 1 インフラ管理ポランティア利度 1 インフラ管理ポランティア利度 1 インフラ管理ポランティア利度 1 インフラ管理ポータンティア利度 1 インフラ管理がより 1 インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラをインフラー・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラー・インフラ管理・インフラ管理・インフラー・インフラ管理・インフラ管理・インフラ管理・インフラー・インフラー・インフラー・インフラ管理・インフラ管理・インフラー・インフラー・インフラ管理・インフラー・

これまでの主な取組経緯

分類	までの王な取れ	施策・施設	取組(2018年度時)	これまでの主な取組経緯
		⑤ 車道	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 定期的な点検の実施	令和3年度に、国土交通省の舗装点検要領に基づき、路面性状調査を実施しました。
			3 舗装の長寿命化修繕計画の策定	令和2年度に、府中市道路舗装長寿命化修繕計画を作成しました。
		⑥ 歩道・植樹ます	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 計画的な更新	平成30年度に、歩道の有効幅員を確保するため、学園通りの府中消防署栄町出張所から明星学苑までの約440メートルの植樹ますを撤去しました。
		① 街路樹	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 定期的なせん定	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の定期的なせん定を実施しています。
	ライフサイクルコストの効率化集約化及び合同化		3 大径木の間引き	大径化した街路樹について、樹木の適正な管理や安全な道路通行を確保するため、平成26年度から路線を決め間引きを行っています。
			4 有効幅員2m未満の歩道にある街路樹の伐採	安全に通行出来る道路空間の確保のために、狭い歩道などの街路樹の伐採を進めています。
		18 標識	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 定期的な点検の実施	令和元年度に大型の片持ち式看板の78基を点検しました。
修			3 計画的な更新	平成30年度に市内の一部を更新しています。
		⑲ 街路灯	1 ESCO事業の導入	平成30年度にLED灯への移行が完了し、引き続き、ESCO事業により、街路灯・公園灯を維持管理しました。
		②0 道路反射鏡	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 定期的な点検の実施	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の点検を実施しています。
			3 計画的な更新	令和3年度からは、道路等包括管理事業において修繕を実施しています。
		② 橋りょう	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 法定点検の実施	令和2年度と3年度に橋梁(車道橋)21橋、道路附属物(歩道橋)15橋の合計36橋の点検を行いました。
			3 府中市橋梁長寿命化修繕計画に基づく管理	令和4年度には、平成29年度に策定した計画の見直しを行いました。
		② 立体横断施設等	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 ペデストリアンデッキの法定点検の実施	平成30年度及び令和5年度に法定点検を実施しました。
			3 ペデストリアンデッキの長寿命化修繕計画の策定	令和元年度に、点検結果(平成30年度実施)を基に、維持管理計画を策定しました。
			4 エレベーター・エスカレーターの定期的な点検の 実施	保守管理委託により、それぞれ月1回点検を実施しています。

これまでの主な取組経緯

分類	までの王な取剤 施策方針	施策・施設	取組(2018年度時)	これまでの主な取組経緯
	ライフサイクルコス トの効率化 集約化及び合同 化	② 大型構造物	1 日常パトロール	令和3年度からは、道路等包括管理事業において市内全域の巡回を実施しています。
			2 定期的な点検の実施	令和元年度に、擁壁やボックスカルバート16基(内4基は認定外道路上の構造物)の点検を行いました。
			3 長寿命化修繕計画の策定	令和2年度に、道路土工構造物点検要領、シェッド、大型カルバート等定期点検要領に基づく点検を踏まえ、方向性を検討しました。
		② 公園緑地等(植栽・花壇)	1 日常パトロール	日常パトロールを実施し、発見した不具合の補修を行っています。
			2 公園樹木の間引き	平成30年度から、樹木の適切な管理を行うため、間引き・伐採を進めています。
			3 植栽・花壇の集約化及び合同化	令和2年度から、花壇の制度を見直し、ボランティアによる花壇の維持管理を進めることとしました。
			4 スポットパーク及び公共植栽地の統廃合等による 見直し	令和元年度に、公園と統合することでスポットパークを1か所廃止しました。
		③ 公園緑地等(遊具等)	1 日常パトロール	日常パトロールを実施し、発見した不具合の補修を行っています。
修			2 『府中市公園施設長寿命化計画』の策定	令和元年度に、平成28年度から平成30年度までに策定した『府中市公園施設長寿命化計画』を取りまとめ、更新しました。また、令和5年度に同計画の見直しを行いました。
更			3 遊具等の集約化及び合同化	 令和元年度に、公園の在り方について、歳入の確保、維持管理など総合的な観点から検討しました。
		③ 公園緑地等 (便益施設・その他施設)	1 日常パトロール	日常パトロールを実施し、発見した不具合の補修を行っています。
			2 府中市公園施設長寿命化計画の策定	令和元年度に、平成28年度から平成30年度までに策定した府中市公園施設長寿命化計画を取りまとめ、更新しました。また、 便益施設について、老朽化への対応として工事を実施しています。
			3 便益施設等の集約化及び合同化の検討	便益施設の更新については、集約化の可能性も考慮して実施しています。
		⑦ 法定外公共物	1 日常パトロール	道路等包括管理事業者と毎月1回の定例会の中で、パトロール状況を確認しながら円滑に事業を進めています。
			2 法定外公共物の付替及び交換の推進	令和5年度は、民間鉄道会社とお互いに使用している土地同士の交換を行うための現地測量に着手しました。
			3 市道の廃止	令和元年度に、1路線廃止しました。
		②8 下水道	1 府中市下水道施設ストックマネジメント計画 の策定と運用	令和元年度に、府中市公共下水道ストックマネジメント実施方針及び府中市公共下水道ストックマネジメント計画(第1期)を策定しました。また、計画に基づき、調査・設計を行うとともに、下水道施設の補修工事を実施し、下水道施設の老朽化対策を進めています。
	耳			